

樂美術館事業計画要旨

29 年度

期間 2017年4月1日(土)～2018年3月31日(土)

事業計画要旨

平成29年度事業計画概要

I 作品・資料の公開活用、保存・修復、作品資料の収集事業

1) 作品資料公開活用事業

1) 当館開催展

春期 春期特別展 茶碗の結ぶ「縁」

夏期 夏期展

秋期 秋期特別展

冬期 冬期展

2) 手にふれる美術館事業

特別鑑賞茶会

手にふれる樂茶碗鑑賞会

親子でお茶一服 2017年5月5日、2018年3月予定

親子ワークショップ 2017年8月13日

3) 館外協力事業 他の美術館との協力事業

東京国立近代美術館 「茶碗の中の宇宙 樂家一子相伝の芸術」 (2017年3月14日～5月21日)

東京国立博物館 特別展「茶の湯」 (2017年4月11日～6月4日)

2) 保存・修復事業

1) 館蔵作品の保管修理を行う。

3) 作品資料収集

1) 作品購入を行い、収蔵作品・資料の充実をはかる。予定作品は現在は未定。

II 樂焼、その他日本陶芸、茶道工芸美術の調査研究・資料図書刊行・閲覧事業

1) インターネット上での樂焼の解説、歴史概説の掲載閲覧を充実させる。

2) SNSを利用して、1)の利用拡大に努める。

III 学校・社会教育への協力を行う、文化・教育振興・普及事業

1) 夏期展にて親子ワークショップを開催する。

2) 児童対象の体験学習に協力、「親子でお茶一服」等を開催する。

3) 大学の教育事業に協力する。

4) 生涯学習事業に積極的に協力する。

5) 地域文化の向上に努める。

IV その他、この法人の目的を達成する為に必要な事業

1) 広報活動を充実させる。

2) 地震、洪水など災害時に備えて収蔵庫の災害対策を強化する。

3) データロガーを用いて、より詳細な湿度温度を記録、管理する。

当館展示事業

<p>展示事業1</p>	<p>春期特別展 茶碗の結ぶ「縁」</p> <p>千家と樂家、今日まで続く「縁」は、千利休が樂家初代・長次郎にもたらしたことから始まった。本阿弥光悦との出会いも樂家にとって、大きなものとなる。様々な「縁」により現在の樂家があり、今後もまだまだ多くの「縁」により樂家は助けられることだろう。</p> <p>千家お家元の手造茶碗や、15代吉左衛門の友人・萩焼15代坂倉新兵衛氏の茶碗など、樂家における様々な「縁」ある作品を紹介。これらをさらなる「縁」として、多くの皆様との「縁」を繋げていく展覧会である。</p>	<p>2017年3月4日(土)～6月25日(日)</p>
<p>展示事業2</p>	<p>夏期展</p> <p>やさしい展示解説、作品資料に手に触れて鑑賞できるなど、工夫をこらした展示を行う。</p>	<p>2017年7月1日(土)～9月24日(日)</p>
<p>展示事業3</p>	<p>秋期特別展</p> <p>未定</p>	<p>2017年9月30日(土)～12月24日(日)</p>
<p>展示事業4</p>	<p>冬期展</p> <p>冬にちなんだ作品を中心に展示。</p>	<p>2018年1月6日(土)～3月末</p>

手にふれる美術館事業

展示ケースごしの展観ではなく、作品、資料を実際に手に触れて鑑賞する「手にふれる美術館構想」を促進してきた。今年度は以下の4事業を行う。

1. 特別鑑賞茶会	5月 6月 7月 9月 10月 12月 2月 3月に開催	年8回
2. 手にふれる樂茶碗鑑賞会	毎月一回行う(8月を除く)	
3. 親子でお茶一服	5月5日(金・祝)、2018年3月(予定)	年2回
4. 親子ワークショップ	8月13日(日)	年1回

他の美術館との協力事業

1. 東京国立近代美術館の展覧会に協力。
「茶碗の中の宇宙 樂家一子相伝の芸術」（2017年3月14日～5月21日）
2. 東京国立博物館の展覧会に協力。
特別展「茶の湯」（2017年4月11日～6月4日）
3. 公益財団法人・佐川美術館の展示、美術館活動に協力する。
樂吉左衛門館10周年 樂吉左衛門展（2017年4月1日～9月10日）
4. 今出川通 日本画・茶の湯美術館連絡会（堂本印象美術館、茶道資料館、北村美術館、橋本関雪記念館、当館）と密接に協力活動を行う。
5. 海外美術館との協力関係を深める。